

平成 29 年度（前期・後期）水運用（実務）研修《3 日間コース》

月日	時 間	科 目 (予定)
第 1 日目 (開催期 日は下記 参照)	9:00~ 9:30	受 付【場所 前期・後期：人材開発センター】
	9:30~ 16:30 ※昼休み休 憩 1 時間含 む	開講式・オリエンテーション
		水理学概論（実験等含む） 水理学に関する必要な基礎知識（パスカルの原理・ベルヌーイの定理）等について実験も含めて行いますので理解を深めることができます。
		管網解析基礎知識 管網解析は計画論での活用方法について多くの文献がありますが、現場の実用レベルを論ずる文献は皆無に等しい状況です。本研修ではこれまでの実務で培った経験を基に研修を進めます。管網解析のみならず実務に役立つ情報も学べます。
		管網計算講義及び演習 管網解析で一番重要な、解析結果の「読解力」を身に付けるべく、例示を使って学習をします。また結果の予測も大事であるため、練習問題を使い考え方を学びます。
		水道施設管理マッピングシステム概要 水道施設管理マッピングシステムにより膨大な水道施設図面を管理しています。システムの概要の説明を行います。
第 2 日目 (開催期 日は下記 参照)	9:30~ 16:30 ※昼休み休 憩 1 時間含 む	水運用概論 ※前期と後期で会場が異なります。ご注意ください。 【場所 前期：西谷浄水場 4 階会議室／後期：中村ウォータープラザ 1 階会議室】 水運用に関する「基本計画」や「取水から配水池まで」についての基礎知識の習得を目指して行う研修です。東日本震災節電時の水運用対応。
		水運用概論 水運用に関する「配水池からの水運用」について、これまで実務で携わった写真等を多く使用し解説するほか、横浜市での実際の申請書類等作成についても詳細に行い、実務に反映できる研修です。
		水運用計画の留意点（事故事例：原因と対策方法ほか） 過去の実際の事故事例の原因と対策方法等を中心に説明を行いますので、実務に役立ち事故防止に繋がる研修です。
第 3 日目 (開催期 日は下記 参照)	前期(6/15) 9:30~ 16:10 後期(10/19) 9:30~ 16:30 ※いずれも 昼休み休憩 1 時間含む	水運用関連実技実習 ※前期と後期で会場が異なります。ご注意ください。 【場所 前期：西谷管路研修施設／後期：中村ウォータープラザ 管路研修施設】 ・水運用技術 ・系統切替作業操作等 ・感性向上実習 水撃圧体感装置〔特許取得済〕による水撃圧の体感 ・事故例の擬似実習 ※サンドエロージョン、不平均力（管せん抜出） ※サンドエロージョン、不平均力（管せん抜出）は後期 10/19 のみ実施
		管路研修施設にて系統切替作業（バルブ操作）の基礎知識を解説と実技により学ぶことができます。さらに直営業務が減少する中で、感性向上（怖い・痛い・危ない等）について体験したり、現象を目視により理解していただく研修です。
		閉講式

※科目ごとの時間割詳細については調整中です。

目的 本研修会は、横浜市水道局の管路研修施設等を利用して、実際にバルブ操作や系統切替作業等を体験することにより、水運用に係わる現場技術を修得するとともに、水理学及び水運用に関する基礎知識や事故事例、管網解析・計算等、水運用実務に必要な基礎知識を身に付けていただくことを目的とします。

研修対象員 民間企業及び水道事業体技術系初級職員
20名

開催期日	研修会場
	※前期と後期で研修会場が異なります。ご注意ください。
(前期) 6月13日、14日、15日	横浜市水道局人材開発センター、横浜市水道局西谷浄水場、横浜市水道局管路研修施設（西谷浄水場内）
(後期) 10月17日、18日、19日	横浜市水道局人材開発センター、横浜市水道局中村ウォータープラザ、横浜市水道局管路研修施設（中村ウォータープラザ内）

受講料 1名 36,000円（消費税込み）

その他 実技実習日（3日目）は、作業服（必ず長袖）・安全靴（半長靴が望ましい）を持参して下さい。軍手・ヘルメットは準備します。

講師 横浜市水道局職員

アクセス 西谷浄水場（前期 第2日目、第3日目の研修会場）へはマイカーでの来場が可能ですが、駐車場の予約が必要となりますので、横浜ウォーター(株)へ必ず事前にご連絡下さい（事前連絡がない場合は駐車不可）。

人材開発センター（第1日目）、中村ウォータープラザ（後期 第2日目、第3日目）へは公共交通機関をご利用の上お越しください。（マイカーでの来場はできません。）